

よ う こ そ

第 46 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL097-527-6916

FAX097-527-6949



ようこそ皆さん
お参りなさい



(上) お朝事の準備を
ととのえて
お参りの皆さんを
お迎えします

(左) 防寒着に身をかため
大きな声で
お勤めします

(12月8日)

円光寺の一日はお朝事で始まります

十二月八日はお釈迦さまがおさとり(仏教)を開かれた成道の日と伝えられています。

毎月第二日曜日は仏教壮年会(田仲進会長)の例会の日でこの日は成道会のご縁になりました。

円光寺では毎朝六時に梵鐘をつきます。「六時半からお勤めですよ。そろそろ準備してお寺にお参りなさい」と朝のお勤め(お朝事)を知らせます。

仏さまにお仏飯をお供えし外陣の香炉にお香をたいて有縁の皆さんをお待ちします。

本堂のチャイムが鳴ります。一人二人三人：とお参りです。今日はいつもよりチャイムが賑やかです。

お内陣のお荘厳をととのえて六時半に喚鐘をつきます。「さあ皆さん心してお勤めさせていただきます。ましよう」とご一緒にお正信偈さまのお勤めをします。

ナンマンダブツとお念仏申し仏さまにお礼をして私たちの円光寺の一日が始まります。

いつもの日常ですが一日一日一つ一つのことが皆さんに支えられてあることの有難さです

お寺が生きています。そこにお念仏申す人がいます。毎日何人の方がお寺に入りにしてそれぞれの

おつとめをしてくださっているのです。お寺はどんな人も来れるところです。

どんな人もです。それは浄土真宗のお寺のご本尊阿弥陀さまのお心おはたらきそのものです。

鐘が鳴ります。阿弥陀さまの南無阿弥陀仏のお喚び声です。どんな人にも致り届きます。

「皆さんお参りなさい」と仏さまの声が聞こえてご縁になって今日もお寺の一日が始まります。

南無阿弥陀仏のおはたらきはいつでもどこでも誰にでも一年三六五日毎日止むことなく届けられているのです。どうぞ皆さんお参りなさい。

お念仏のご縁につながつて...

門徒報恩講地域法座

円光寺では毎年十一月末に御正忌報恩講をお勤めし十二月中旬までご門徒さんのお家で報恩講のお勤めをします。住職継職以来二十年続くとお念仏のご縁です。報恩講は私たち浄土真宗門徒にとつて最も大切な親鸞聖人のご法事です。聖人のご苦勞を偲びご恩徳にご報謝申しあげます。

十二月は一年の締めくくりの月でもあり、私たちにお念仏のみ教えを届けてくださった、阿弥陀さま、親鸞さま、蓮如さまそしてご先祖有縁の仏さま方にこの一年の奉告とお礼をさせていただきます。

普段の月参りを ご縁に

報恩講は以前は皆さんのお家でも勤められていましたが、戦後ずっと止まっていました。何とか門徒報恩講を復活したいと、今できていることで報恩講のお勤めをしようと思ひ立ちました。

普段の月参りを十二月は門徒報恩講ということでお参りすることにして、お仏壇のお荘厳はお家のご法事のようにきれいに飾りしてくださいとご門徒皆さんにご案内しました。

地域法座のご縁をいただく

各地区ごとにお参りの日を決めて報恩講をお勤めし、その日の夜にご門徒宅を会所に地域法座を開くことにしました。

お互いに無理なく続けられるように会所は順番にしてお茶程度のお接待という取り決めで始めました。

各地区でそれぞれ特徴があるものになりました。皆さんからの要望で今は夜だけではなく昼の時間でもできるようにしました。今は近所づきあいをお互いのお家に向が強くなつてお互いのお家にあることがなくなりました。そんななかでの地域法座です。



仲村地区地域法座

ご門徒全戸から皆さんがお参りされにぎやかに勤めできました(12月5日、山村三夫様宅)



板屋町地区地域法座

お勤めの後で皆さんが持ち寄ったものをお楽しみいただき楽しく懇談します(12月12日、中澤司様宅)

同じご本尊の御仏前で

お念仏のご縁は南無阿弥陀仏のいのちのつながりです。私たちは縁あつて円光寺に帰属する浄土真宗の門徒お念仏の仲間です。同じお浄土への道を歩ませていただくご門徒皆さんが同じご本尊の阿弥陀如来の御仏前でお念仏のご縁に遇わせていただく有難さです。「いっしょにいこうえ」と声をかけ合い誘い合つてご法座のご縁にお参りしましょう。

お寺のご縁、地域のご縁、お家のご縁みんなお念仏のご縁です。ご本尊を中心にご門徒皆さん共々にお念仏のご縁につながつてお念仏申す生活をさせていただけますように。

世々生々

ローマカトリック教会のフランシスコ教皇が来日被爆地の長崎広島を訪れ核兵器の廃絶を訴えた。

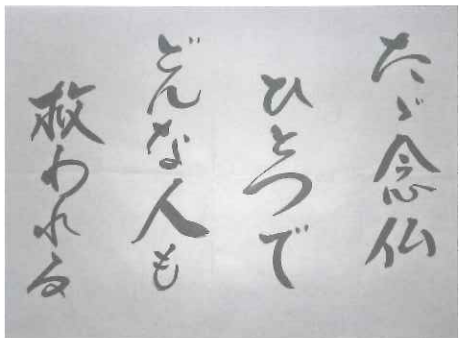
核兵器の無い戦争のない平和な世界になつてほしいと願う

◆ただ核兵器をもつことが戦争の抑止力になると核兵器保有国をはじめ世界の主要国の政府関係者は強調する ◆教皇の発言はキリスト教宗教圏の西洋を中心とした二千年の世界の歴史を背景にしたもので広く世界中に発信され現在の政治情勢に警鐘を鳴らし櫻を打つものと期待されるが、宗教は政治に口を挟むべきではないとも言われる ◆仏教浄土真宗も宗教だが仏教者宗派のトップの言葉が世界中に発信されるかという点と極々内々に留まり社会的な発言は慎まれる ◆宗教仏教の社会的役割を思う。我が身のことに引き寄せ

て仏教と現実生活は別々のことではなくお念仏の教えに遇つて人間中心自己中心の私たちの生活のあり方が問われる ◆南無阿弥陀仏は阿弥陀さまから私たちへの発信、煩惱具足の凡夫の身と知らせて「誰もみんな見捨てないそのまま救う」とおはたらきだ。西洋も東洋もない世界中の人々にずつと喚び続けられているお心を聞き少しでも応えていこう。



揭示伝道のことばより



7月のことば
「ただ念仏ひとつで
どんな人も救われる」

「みんなの体操会」というチラシを見ました。みんな体操をしようというお誘いです。みんなという言葉に親しみを感じます。私たちの阿弥陀さまのお救いはみんなのお救いです。今月のことばは「ただ念仏ひとつでどんな人も救われる」です。生きとし生けるものすべてを分け隔てなく必ず救う南無阿弥陀仏のおはたらきです。

てくださっていると聞かせていただきます。みんなのお救いという阿弥陀さまの大きな慈悲のお心おはたらきを思い何かほつとする心強いものを感じます。

ただこのみんなという言葉、みんながしているからと多数派の代名詞になって少数者を排除するような見方にもなってしまうかねません。みんなが言っているみんながしているから間違いない正しいことだとそのこと自体の真実を問わない見方にもなってしまうからです。

元ハンセン病患者の家族救済判決の控訴を政府が断念しました。ハンセン病の患者さんだけでなく家族までもが社会の差別と偏見にさらされ困難な生活を強いられるきたという重い事実です。

私たち人間のものの見方の危うさです。真実を知ろうともせずみんなという多数派のなかに安心して少数者を傷つけているということ。仏さまのものの見方はどんな人もみんなです。

私たちはみんなそれぞれ生活ぶりはお心おはたらきはどんな人にも同じです。お念仏申してみんながそれぞれの違いを認め合い支え合って共々に生きる社会でありたいと思います。

(7月11日)

ただ念仏のみぞまこと

沖縄の首里城がメラメラと炎をあげて燃え上がり焼け落ちる様子をテレビで観ました。何も為す術もなくただ茫然とながめるしかない沖縄の人たちの悲痛な思いが伝わってきます。

諸行無常とすべてのものは止まることなく日々刻々と生滅変化すると聞かせていただきます。火宅無常と燃えさかるわが家に警えて火事は私が今まで大事にしてきたもの全てを焼き尽くしてしまいます。

私たちのこの身の上のことです。私たちは日頃健康であったり家族やお金などを当て頼りに生きていますが、この命終わる時それまで大事に握りしめていたもの一切を手放していかねばなりません。歎異抄に「煩惱具足の凡夫火



敬老会(10月1日)
仏教婦人会手作りのちらし寿しを
おいしくいただきました

宅無常の世界はよろづのことみなもつてそらごとたはことまことあることなきにただ念仏のみぞまことにておはします」という御文があります。

この身の世の中のことはずべてそらごとたわごとばかりで何一つ真実なるものはない無常のなかにあつてただ念仏だけが真実まこと変わらないものですとの仰せです。無常の世に凡夫の身を生きる私もお念仏ひとつで救われていくんだよとの教えです。

南無阿弥陀仏の救いの法です。無常の世におはたらきくださりこの私をお念仏申す身にさせて救うてくださるのです。

確かに健康は大事です。家族は大きな生きる支えです。お金がないと日々の生活がおぼつかないです。思い通りにならない人生に深い溜息がもれ愚痴がこぼれるこの口からナモアマミダブツのお念仏の声が出てくださいます。いつでもどこでもどんな状況にあつてもこの私を見捨てず阿弥陀さまが一緒に結くださる有難さを思います。

(11月2日)

円光寺ホームページで
へお念仏申す生活法話V
お朝事『法話』を
日々更新しています



仏婦会・仏社会の皆さんに食事のお世話などお手伝いいただきましたサマースクール閉会式で(7月31日)

縁の下の力持ち



61名の多くの小学生が参加、中学高校大学生6名のスタッフの協力で今年も楽しいサマースクールができました(7月30日~31日)

第39回サマースクールを開きました



盆法要門徒初盆会(本堂)の後境内で80人が生のおはやしにのって鶴崎踊りに興じました(8月12日)

第21回盆おどり大会



そうめん流しに食欲倍増!! 「いっぱい食べるゾ~」(7月31日)



夕食は子どもたちの大好きなカレーライス「いただきます」(7月30日)

こども報恩講



仏参の後ぜんざいのおせつたい、人形劇ビンゴゲーム(写真)でみんなで楽しく過ごしました(11月26日夜)



多くのご門徒さんに御正忌の準備をお手伝いいただきましたお飾り申しのようす(11月25日)



住職新院が内陣出勤してご門徒共々お勤めました(右上円内は菊池慈峰講師)(11月26日~28日)

親鸞聖人御正忌報恩講

去年はラグビーのワールドカップで日本中が盛り上がった。何といっても日本チームの活躍が感動的だった。スローガンは「ワンチーム」。選手の半分が外国籍で見ると体格も顔つきも肌の色も違う。一つの目標に向かって一つのチームになった。私たちは南無阿彌陀仏のワンチームだ。それぞれ生活ぶりの違うお互いがお念仏のおはたらき一つでそれぞれの人生を生き抜き同じ阿彌陀さまのお浄土に生まれさせていただくご法義を今年も共に聞かせていただこう。

あ と が き



藤井邦麿師 田畑正久師にご出講いただき65名の皆さんが尊いご縁に遇いました(8月29日、大分市コンパルホール)

第5回ようこそ大分まちなか法話会